

令和3年第48回 宮城眼科先進医療研究会

日時 令和3年8月23日(月) 19:00-20:00

場所 東北大学医学部 眼科学教室 (WEB開催)

プログラム

1. 代表世話人挨拶

2. 特別講演

座長：津田 聡先生

演者：京都大学医学部附属病院 眼科 特定准教授／卓越研究員

池田 華子 先生

『 網膜中心動脈閉塞症に対する新規治療法開発 』

池田 華子 (いけだ はなこ)

略歴

1999年3月 京都大学医学部卒業、京大病院眼科

1999年11月 天理よろづ病院眼科 2002年10月
(財)先端医療振興財団・知的クラスター研究員
理化学研究所発生再生科学総合研究センター
共同研究員

2005年4月 京都大学医学部附属病院探索医療センター
網膜再生医療プロジェクト医員

2006年4月 滋賀県立成人病センター 眼科 副医長

2008年6月 博士(医)学位取得(京都大学)

2009年4月 京都大学医学部附属病院・眼科助教

2014年8月 同臨床研究総合センター
網膜神経保護治療プロジェクト准教授

2019年8月 同眼科・特定准教授、卓越研究員
現在に至る

3. 閉会の辞

宮城眼科先進医療研究会

網膜中心動脈閉塞症に対する新規治療法開発

京都大学医学部附属病院 眼科 特定准教授／卓越研究員

池田 華子 先生

抄録

網膜中心動脈閉塞症（CRAO）は、網膜内層虚血により主に網膜神経節細胞が脱落し視機能障害が起きる、予後不良な疾患である。

我々は、valosin-containing protein の ATPase 阻害作用をもつ新規化合物である Kyoto University Substance（KUS）剤に細胞保護作用があり、緑内障や網膜変性モデル動物への投与により、疾患進行抑制効果があることを明らかにしてきた。さらに、KUS121 剤の投与安全性、薬物動態、有効性を検討することを目的とし、first-in-human 試験である第 1/2 相医師主導治験を実施した。

治験では、CRAO 発症 48 時間以内の患者 9 名を対象とし、KUS121 を 3 日間硝子体内投与し、12 週間経過観察し、視力や視野などの評価を行った。CRAO 急性期患者への KUS121 硝子体内投与は安全かつ視機能改善に有効であることが示唆された。

本講演では、KUS 剤の基礎的研究から臨床研究への過程とともに、今後の展開についてお話ししたい。